

・ 調査の概要

調査名	沖縄 PT 調査における観光プローブパーソン調査の実施
キーワード	観光客交通行動, 観光交通計画
調査地域	沖縄県本島
調査期間	平成 18 年 10~11 月 (2 ヶ月)
調査人数	284 グループ
調査主体	沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課 (受託: 財団法人計量計画研究所、株式会社中央建設コンサルタント)
調査の特徴 ・ PP 利用の効果など	観光客は利用した経路を覚えていない(覚えられない)場合や、渋滞を渋滞と感じない場合がある。そこで PP は有効な調査手法となった。 観光客に楽しみながら調査協力して頂けるように携帯電話の写真機能を活用したアルバムをプレゼントする工夫を施した。 レンタカーを借りにきた観光客を対象に、その場で説明し、理解・操作をして頂かなければならないため、簡易な操作機能の設計をした。 その結果、観光客への調査協力がスムーズに実施でき、良好なデータを取得することができ、今後、都市交通マスタープラン策定に向けて活用する。

背景と目的	
<p>沖縄県では観光に関する収入が県内総生産(名目)の約 10%を占めており、産業別県内総生産と比べてもトップクラスである。このため、沖縄県にとって観光産業の更なる発展は、非常に大きな意味をもつ。第 3 回沖縄本島中南部都市圏パーソントリップ調査(以後、PT 調査)は、平成 18 年度に実態調査を実施し、平成 20 年には都市交通マスタープランを策定する。沖縄県への観光客は、年々着実に増加し、5 年前の 1.2 倍(H12 約 450 万人から H17 約 550 万人)、また、そのほとんどがレンタカーを利用し、その台数も平成 16 年に 1 万台を突破した(5 年前の約 1.5 倍)。また、特定の場所では、レンタカーによるうろつき行動や、レンタカーの交通量そのものが交通渋滞の要因の一つとまで言われている。以上のような特性を反映し、都市交通マスタープランを策定する上では、観光客の交通行動も考慮した提案が必要となっている。そこで、本調査では PT 調査の付帯調査の一つである観光客の交通行動を把握することを目的にプローブパーソン技術を用いた観光交通行動調査を実施した。</p>	

調査手法とシステム	
<p>PP 調査は、実績からも長期間の調査に適している。但し、操作の複雑さ故に、調査開始前の被験者説明に多くの時間を要する。また、今回は観光客を対象とするため、調査に協力しやすくする工夫が必要である。そこで、今回のシステムは次の 2 点をコンセプトとし、構築を行った。</p> <p>複雑な操作説明を必要としないこと 操作 2 回のみ 被験者が楽しみながら協力できること アルバム提供 参照: 北村・中嶋ら, プローブパーソン調査手法の簡素化と観光交通行動調査への適用, 土木計画学研究講演 vol.35, 2007.6</p>	

調査結果

表 調査の概要

概要	
調査期間	・平成18年10月～11月(2ヶ月間)
サンプル数	・収集実績: 284グループ 基本的には2泊3日以上グループを対象として配布
取得データ	・移動履歴(時刻、緯度、経度) ・移動目的 ・移動手段 ・エントリ(渋滞ポイント、写真)
調査方法	・レンタカー会社にて、携帯電話の配布回収 ・説明5～10分程度

表 実態調査後のアンケート結果

Q. 調査員の説明はわかりやすかったですか。

	回答数	回答者数に対する割合
・分かりやすかった	14	93.3%
・分かりづらかった	1	6.7%

Q. 携帯電話の操作はわかりやすかったですか。

	回答数	回答者数に対する割合
・分かりやすかった	8	53.3%
・分かりづらかった	2	13.3%
電源オンオフ	0	0.0%
出発操作	2	13.3%
到着操作	4	26.7%
エントリ	5	33.3%
その他	5	33.3%

Q. Webアルバムの操作はわかりやすかったですか。

	回答数	回答者数に対する割合
・分かりやすかった	14	93.3%
・分かりづらかった	1	6.7%

Q. Webアルバムの良かった機能は、何ですか。

	回答数	回答者数に対する割合
・移動履歴がみられること	12	80.0%
・写真がみられること	7	46.7%
・入力コメントがみられること	3	20.0%
・写真ダウンロードができること	6	40.0%
・他	0	0.0%

Q. 今回の調査は紙による調査と比べてどうですか。

	回答数	回答者数に対する割合
・受け入れられやすい	14	93.3%
・受け入れにくい	1	6.7%

Q. 今後、同様の調査にて、ボランティアとして協力頂けますか

	回答数	回答者数に対する割合
・ボランティアOK	4	26.7%
・楽しい要素あればOK	1	6.7%
・謝礼あればOK	8	53.3%
・協力できない	2	13.3%

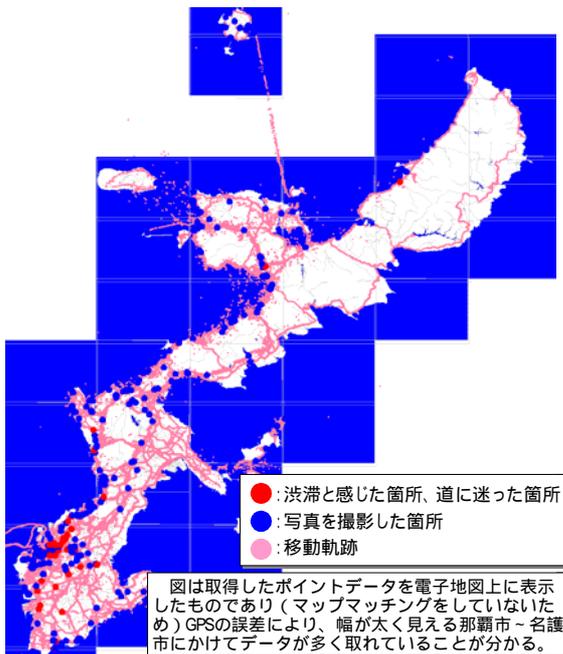


図 走行履歴の取得状況

表 データ収集結果

被験者数 (機器配布被験者数)	284 人
平均旅行(レンタカー利用)日数	2.60 日
データクリーニング前	
被験者数(機器操作被験者数)	280 人
日あたり平均トリップ数	4.11 トリップ/日
被験者あたり平均トリップ数	10.71 トリップ/人
平均トリップ時間	252.4 分
データクリーニング後	
被験者数	205 人
日あたり平均トリップ数	4.92 トリップ/日
被験者あたり平均トリップ数	7.83 トリップ/人
平均トリップ時間	29.6 分

参照: 北村・中嶋ら, プローブパーソン調査手法の簡素化と観光交通行動調査への適用, 土木計画学研究講演 vol.35, 2007.6

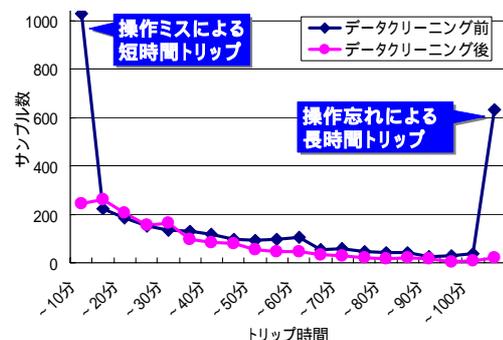


図 トリップ時間分布

．事例の詳細

- ・「背景と目的」「調査手法とシステム」「調査結果」「その他アピールポイント」等について記述してください．
- ・必ずしも必要ではありませんが，事例の理解を深めるために必要な内容を記述してください．
- ・様式や作成ソフトは特に問いません．（参考：<http://www.probe-data.jp/case/index.html>）
- ・「．事例の内容」全体で、10 ページ程度以内でお願いします．